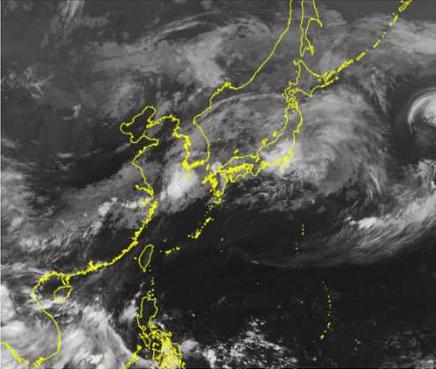


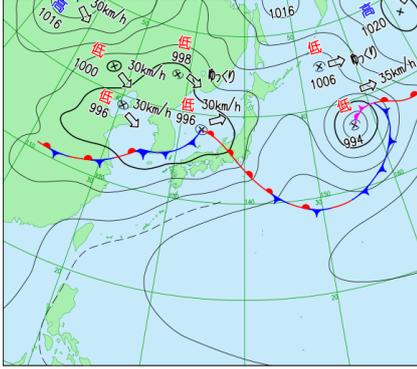
令和6年6月22日～23日 前線に伴う降雨における防災操作の概要

- 梅雨前線の活動が活発となり、九州北部から北陸を中心にライン上の活発な雨雲がかかったことにより、激しい雨が降りました。
- 徳山ダム流域では、6月22日の18時頃から雨が降り始め、流域平均総雨量は約200mmを観測しました。特に23日2時～6時の4時間で80mmの降雨を観測しました。
- この降雨の影響で、ダムへの流入量が増加し、洪水量(200m³/s)に2度にわたり達する出水となり、合計約710万m³(ナゴヤドーム約4杯分)の水を貯留しました。

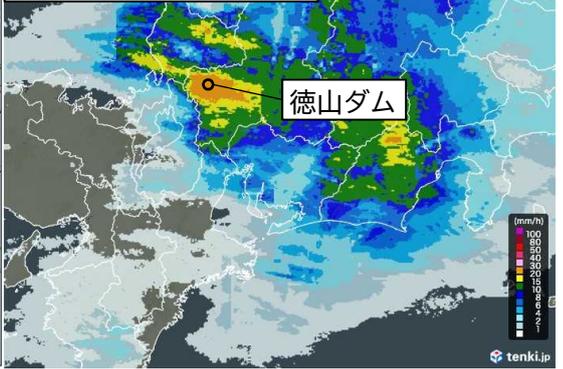
6月23日6時 気象衛星赤外線画像



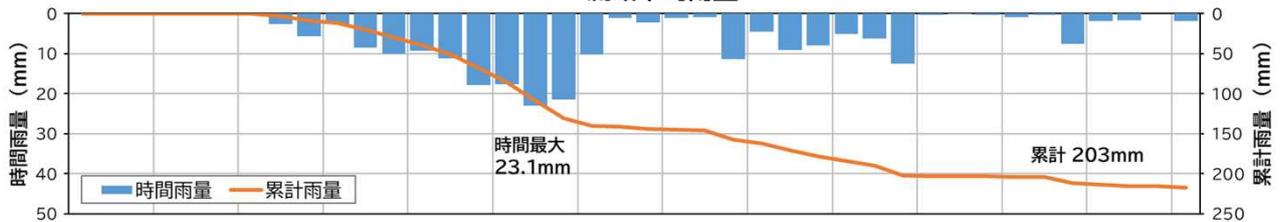
6月23日6時 天気図



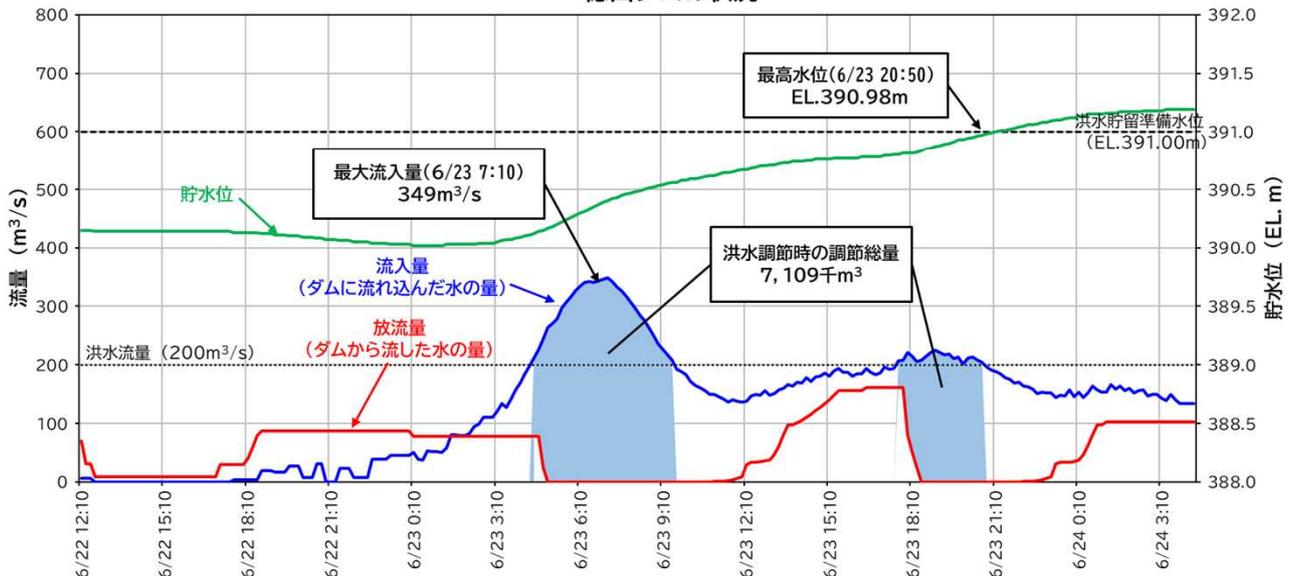
6月23日6時 レーダ雨量



流域平均雨量



徳山ダムの状況



6月23日 8時 貯水位：EL. 390.47m



6月24日 11時 貯水位：EL. 391.22m



今回の出水対応で
貯水位は1.2m上昇